

## 【アメリカ】フィリップ・ゴールドバーグ氏の駐韓国大使への指名承認公聴会

2022年4月7日、上院外交委員会は、バイデン（Joe Biden）大統領によって次期駐韓国大使に指名されたフィリップ・ゴールドバーグ（Philip Goldberg）氏等の指名承認公聴会を開催した。指名承認公聴会の後、ゴールドバーグ氏の駐韓国大使への指名は、上院本会議において満場一致で承認された（承認は5月5日、就任は7月12日）。

ゴールドバーグ氏は、公聴会の証言で、米韓同盟が包括的かつ地球規模のパートナーシップに進化してきたことを振り返り（ミャンマー問題、ウクライナ問題、新型コロナウイルス感染症、気候変動対策など）、自身の指名が承認された場合は、更なる同盟強化と協力範囲の拡大を進めていくとした。

他方、北朝鮮の攻撃から韓国を守ることが、依然として米韓同盟の焦点であるとも述べ、自身の指名が承認された場合は、「朝鮮半島の完全なる非核化」を追求していくとした。またその過程で、北朝鮮との外交の可能性を探りつつ、（対北朝鮮制裁に関する）国連安保理決議の完全履行を目指して、韓国・日本を始めとする国々と引き続き緊密に協議していくとした。

加えて、米韓自由貿易協定（KORUS Free Trade Agreement）の発効（2012年3月）から今年で10周年となることにも触れ、自身の指名が承認された場合は、米労働者の雇用創出のために、韓国の対米投資を更に呼び込んでいくと主張した。

その他、人的交流が両国関係の根幹を成しているとも述べ、新旧問わず韓国の豊かな文化が、米国の人々に恩恵をもたらしていると論じた（キムチや音楽グループ BTS など）。

公聴会の質疑では、対北朝鮮制裁の効果について尋ねる質問が複数出された。クリス・マーフィー（Chris Murphy）上院議員（民主党、コネティカット州）は、ゴールドバーグ氏が対北朝鮮制裁に関する調整官（国務省）を務めていた（2009年6月から2010年6月まで）ことに触れた上で、制裁の効果について見解を求めた。これに対して、ゴールドバーグ氏は、世論を通じた働きかけが困難な北朝鮮は、難しい制裁対象であると回答した。他方、制裁は対北朝鮮政策の重要な構成要素であり、継続が必要であるとした。

ブライアン・シャーツ（Brian Schatz）上院議員（民主党、ハワイ州）は、「完全且つ検証可能で不可逆的な非核化（comprehensive, verifiable, irreversible denuclearization: CVID）」の実現可能性について質問した。これに対して、ゴールドバーグ氏は、難しい目標であることを認める一方、米国の核不拡散政策及び抑止政策と合致するものであり、目標に据え続ける必要があると主張した。

ボブ・メネンデス（Bob Menendez）上院議員（民主党、ニュージャージー州）は、北朝鮮による度重なる弾道ミサイルの発射と、更なる挑発行為の可能性について見解を求めた。これに対して、ゴールドバーグ氏は、深く憂慮しているとの考えを示した上で、更なる挑発に対しては、韓国及び日本と連携しながら、抑止力の強化で対応しなければならないと回答した。

加えて、メネンデス議員は、日韓の歴史認識問題と、関係改善に向けた米国の役割についても質問した。これに対して、ゴールドバーグ氏は、米国の役割の重要性を強調した上で、自身の指名が承認された場合は、駐日本大使（本誌 No290-2, 2022.2, pp.43-44 参照）とも連携して取り組んでいくとした。また、日韓協力は北朝鮮問題に限定されるものでなく、地域及び世界の諸問題について、両国は連携を強化すべきであるとした。

海外立法情報課・西住 祐亮

• <https://www.foreign.senate.gov/hearings/nominations-04072201>

• <https://www.congress.gov/nomination/117th-congress/1778>

### 【アメリカ】安倍元首相の功績を顕彰する連邦議会議員の演説及び所見

安倍晋三元首相が銃撃されて亡くなった事件（2022年7月8日）を受け、連邦議会上院では、ロブ・ポートマン（Rob Portman）上院議員（共和党、オハイオ州）が、2022年7月11日に、安倍氏の功績を顕彰する演説を本会議で行った。ポートマン議員は、事件に伴う衝撃と悲しみを表明し、安倍氏を「米国の親愛なる友」であったと述べた。その上で、民主化支援や対北朝鮮・対中国政策を念頭に、安倍氏が、インド太平洋地域における諸連合（国家間の協力枠組み）の構築を牽引（けんいん）する存在であったと称えた。さらに、安倍氏の残した足跡と日米同盟は、この先も両国に恩恵をもたらし続けるであろうとした。

また、下院では、ポール・ゴサル（Paul Gosar）下院議員（共和党、アリゾナ第4選挙区）による所見（Extensions of Remarks）が、同年7月14日付け連邦議会議事録に掲載された。ゴサル議員は、安倍氏が日本の憲政史上で最も長く首相を務めたことを称えた上で、全世界が安倍氏の死を嘆いていると述べた。加えて、「安倍氏は、日本人々が築き上げた前向きな貢献に常に光を当てた」「日本人々を第一に考える経済・外交政策を推し進めた」「中国に対して恐れを抱くことなく、強さでもって立ち向かうことを世界に示した」「愛国者として、自国民のために闘う決意を絶やさなかった」などと称賛した。

海外立法情報課・西住 祐亮

- ・ <https://www.congress.gov/117/crec/2022/07/11/168/113/CREC-2022-07-11-pt1-PgS3203-4.pdf>
- ・ <https://www.congress.gov/117/crec/2022/07/14/168/116/CREC-2022-07-14-pt1-PgE736-2.pdf>
- ・ [https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_12312723\\_po\\_02920214.pdf?contentNo=1](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_12312723_po_02920214.pdf?contentNo=1)